



発行: JAPANESE CHILDREN'S SOCIETY
8 WEST BAYVIEW AVENUE,
ENGLEWOOD CLIFFS, NJ 07632
HP: www.JapaneseSchool.org
☎(201)947-4832

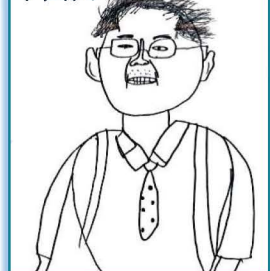
2015年度のご挨拶

寒さの厳しい冬が終わりようやく過ごしやすい季節になってきました。ハドソン川岸の桜並木はみごとに咲き誇っています。NY・NJ地区の日本人コミュニティの皆様、いかがお過ごしでしょうか。

1979年11月、当地の日本人子弟が英語のみにならずバランスのとれた日英のバイリンガルになるようにとの思いで本学園が誕生しました。故丹羽美代子初代園長がマンハッタンのチェルシー地区で Japanese Children's Society を開設したのが36年前でした。現在のJCSはニューヨーク育英学園(NJ全日制 幼児部・小学部)をはじめ育英サタデースクール(NJ校・マンハッタン校・ポートワシントン校/幼児部・小学部・中学部・高等部)育英サンデースクール(NJ校 幼児部・小学部)フレンズアカデミー(マンハッタン幼児教室・国語教室・日本語教室・ウィークエンドスクール等)そしてりんごラーニングセンター(NJフォートリー 語学部門・きりんのへや子ども園等)と枝分かれをしながら成長して参りました。夏にはサマーキャンプ、冬にはスキーキャンプと休むことない『究極の日本人学校』となりつつあります。「日ようびは日本語で遊ぼう」や「いろはにほん語教室」「日曜寺子屋アカデミー」「野球教室」「ピアノ・バイオリン教室」、また、各種検定の会場としても地域の方々に親しまれています。

これからもどのようなニーズがあるのか模索しながら活発な元気のよい楽しい学園づくりに励んで参ります。今年度も皆様のご理解ご協力を宜しくお願い致します。

学園長



～マンハッタンに全日制の日本語幼稚園誕生！！～

NY育英学園のマンハッタン校、フレンズアカデミーがUpper West方面に移転します。待ちに待った全日制的日本語による幼児教育機関が誕生します。現在改修工事中ですが、6月にはオープンハウスを計画しています。(絵: 全日制小学部第6学年 窪田彰之)もう暫くお待ち下さい。場所は103丁目 West. コープの1階で、地下鉄の駅より1ブロックにあります。元々プリスクールだった場所で、現在トイレを増やす工事、天井やパーティションを作り替える作業中です。オープンハウスは6月5、6、7日です。是非見学にいらして下さい。

スペース内には保育室や教室の他、ピアノレッスン室や運動遊び・体操などができるスペースもあります。又、アカデミー西隣には、ハドソン川を望む大きな公園もあります。マンハッタンの中ではまたとないよい環境と思われます。このスペースを心の拠り所とする多くの子ども達が毎日利用してくれることを願ってやみません。

日系コミュニティの皆様とお会いできるのを楽しみにしています。



ニューヨーク育英学園

学園長

岡本 徹

第24回 ニューヨーク育英学園&よい子の学園

全日制ファミリー同窓会のご案内

日時: 2015年 8月 8日(土) 午後1時00分～4時(受付開始 午後12時30分)
会場: 「国立オリンピック記念青少年総合センター」センター棟 102号室
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
☎(03) 3469-2525 HP <http://nyc.niye.go.jp>
参加費: 大人 1000円 小人(高校生まで) 800円(飲み物付き)
交通: 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩7分
地下鉄千代田線 代々木公園駅(CO2)下車(代々木公園方面4番出口) 徒歩10分

申し込み方法: 電子メール dosokai.zennichi.nyikuei@gmail.com
※以下の内容と一緒にお知らせください。

- ①同窓園児/児童氏名(旧姓/現年齢/所属(学校・会社など))
- ②卒業/卒園/退園時の所属と西暦
- ③参加者氏名/人数
- ④現住所/電話番号/E-Mail アドレス
- ⑤メッセージなどありましたら、どうぞ。

～今号の目次～

P.1 学園長よりご挨拶

フレンズアカデミー特集

- P.2 新設「たんぼ幼稚園」(全日制幼児部)
- P.3 アフタースクール
- P.4 ウィークエンドスクール

P.5

- 新ホームスクールシステムのお知らせ
- 「いろはにほん語教室」のお知らせ
- P.6 JCSのご案内

P.7

- 2015年度オープンハウスのお知らせ
- 2015年度サマーディキャンプ・レイクグリーリー宿泊キャンプのお知らせ
- 第3回東日本大震災遺児サマー留学プログラムについて

P.8 2015年度各種検定のお知らせ

- NJキャンパス全日制部門「互いの力量を高め合う」職員研修について
- 全日制英語科からのお知らせ
- P.9 シリーズ「教育座談会」

P.10

- 2014年度夏休み自由研究「はたの光の数と天気のみ・み・つ」より
- NJキャンパス学園美化・緑化プロジェクトについて
- 第2回米国国務省との交流
- P.11 NY育英合同展のお知らせ

P.12

- NY育英学園職員ペンリレー
- 2014年度NY育英学園ファンドレイジング報告
- 育英サタデースクールマンハッタン校高校生ボランティア紹介
- シリーズ「先輩から一言」
- 4コマ漫画(作: トモエ・ファーマー)

懐かしい顔と出会えます。
8月8日には代々木オリンピック村で会いましょう！

岡本 徹



NY 州認可全日制幼稚園フレンズアカデミーたんぽぽ幼稚園として新規開校します！

フレンズアカデミーは、NY 育英学園マンハッタン校として 1997 年に開校以来、現在までミッドタウンに場所を構え、マンハッタン近隣の幼児を中心とした子ども達に日本語クラスを提供してきました。子ども達が日々伸びやかに、大切な幼少期に心豊かな時間を過ごすことができるようにという学園共通の目標のもとに、アカデミーも、より良い教育環境を提供できないものかと、日頃より校舎候補地を探し続けておりました。そしてこの度、アッパーウエスト地区に移転する事が決定しました。そして、マンハッタン市内の全日制幼稚園として新規開校することになりました。

ここが大きく変わります

フルタイムの保育施設 幼児期の日本語を大切にしたい保護者、子育てと仕事の両立をされる保護者を応援します。
基本保育時間 月～金 9時から3時まで（早朝・延長保育、アフタースクールあり）

月～金	主な活動
8:00-9:00	早朝保育（希望者）
8:45-9:00	登園
9:00-10:00	自由活動
10:00-10:30	朝の活動 ダンス・歌・当番活動
10:30-11:30	午前の活動
11:30-12:15	昼食
12:15-1:00	自由遊び
1:00-2:30	年少中は午睡/午後の活動
2:30-2:45	おやつ
2:50-3:00	降園
3:15-5:30	保護者のお迎えを 待って 5:30 までの 延長保育 (ベビーシッター) 降園後、 アフタークラス 日本語基礎教室 (3:30-5:30) へ 移行が可能。



ハドソンリバー
パークのすぐそば。
ニューヨークの
四季に触れることが
できる恵まれた環境
です。

8月31日(月)の開校
オープンハウスを開催します。
オープンハウス日程
6月5日(金) 5:00-6:30
6月6日(土) 10:00-2:00
6月7日(日) 10:00-2:00
於 新校舎
310W 103St
(地図以下参照)



アカデミーアフターStep Up & Challenge クラス

移転に伴い、アフタークラスも充実します！

これまでのフレンズアカデミーでは、アフタークラスとして、既に現地のデイケアや学校へ通っている子ども達にむけたプログラムを開講していました。移転しても、これらのプログラムは継続致します。また、幼児や小学生だけでなく、中学生やアメリカでの進学はもちろん日本での進学も考えている高校生のクラスも充実させていきます。また、一般の方も対象にした書道クラスも継続し、幅広い年齢層に向けたよりよいクラスを展開していきます。

日本語を続けていこう、強化していこうというお子様向け

日本語の基礎教室 (3歳から6歳) 火～金 3:30～5:30

「お名前を教えてください。」という先生や友達からの声掛けから始まって、子ども達は自分のことをクラスメイトの前で表現する活動をします。日本語の歌、楽しいゲームを通して日本語のシャワーもあびます。この積み重ねで、子ども達は日本語の語彙を増やし、自分を表現することの楽しさを味わうことができます。また、お子さんの年齢や日本語経験に合わせたプリント学習も行い、日本語の基本と学習する姿勢を培っていきます。



国語教室 (6歳から小学生6年生まで) 月～金 4:10～6:00

月曜日から金曜日までの毎日行われているクラスです。どのクラスでも、音読・読解・語彙増やしなどを通して、自分で日本語が読めること、自分で考えることができるようにする力を養います。
月曜日は初歩クラスで、日本語をスムーズに話せること、基本的な語彙を身につけること、平仮名を自由に読んだり書いたりできることを目標にして、楽しく日本語を学習します。火・水曜日には、月曜日の学習に加え、文章の意味をとらえて読めるように学習を進めます。カタカナや漢字の学習と語彙を増やすことも大きな活動になります。木曜日は、日本の国語の教科書を使って学習をしたい子ども達のためのクラスです。それぞれに必要なことを学習する個別学習となります。金曜日は、小学生の高学年の読み物を教材にして、自分で読み進める方法を学びます。わからない漢字や意味を自分で調べながら意味をつかみ、どんな小さなことでも、自分の考えや感想を述べるように授業を進めています。また、漢字を覚えるために様々な活動をしています。

	月	火	水	木	金
4:10-6:00	国語初級	国語 I・II	国語 I	国語(個別)	国語 III



※この他、中学生や高校生向けの国語教室、日本語を学びたい大人のための教室を予定しています。

日本の文化を学びたい方向け

書道教室 対象は、4歳から一般の方まで。初心者から上級者まで。個性を大切にしながら「のびやかで美しい字」が書けるように指導します。また、書写検定や公募展にも出品して書道への意欲につなげます。



高校・大学進学のために学習したい中高生向け

アメリカや日本の大学への進学を考えている子ども達のために、専門の教師陣による、HSAT、SAT、SATサブジェクトテスト向けの実力養成講座が開かれています。自信をつけて次のステップを踏めるように、しっかりと指導します。現在開かれている講座は次の通りです。

	月	火	水	金	日
6:10-7:40	Math I	English I	Math 基礎講座	Calculus	4:00-6:00 Physics
7:40-9:10		English II		English II	6:00-8:00 Physics

夏期集中講座として、SAT 実戦講座 (Math と English)、実力養成講座 (Math, English, Physics, Chemistry など)、日本の大学受験向けの小論文講座も開講いたします。詳しくはフレンズアカデミーまでお問い合わせください。

新設アカデミー幼稚園とアフターのお問い合わせ: Preschoolfriends.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ/フレンズアカデミーディレクター: 吉田 洋子

楽しい日本語経験とバイリンガルへの道 フレンズアカデミー ウィークエンドスクール

ウィークエンドスクールの子供達は、どの子も日本が大好きで、日本語を話せることを誇りに思っています。そして、日本のおじいちゃんやおばあちゃんと日本語で話をしたい、日本で暮らしたい、日本語と英語を使って仕事をしたい、と大きな夢を持ってバイリンガルを目指しています。そんな子供達をサポートするのがフレンズアカデミーウィークエンドです。これからも、楽しい保育や授業、効率的な学習を心がけ、子供達に寄り添う学校作りをしていきます。

フレンズアカデミーウィークエンドスクールでは、現在、次のようなクラスが開かれており、クラスの子供達に合わせて、毎回、聞く・話す・読む・書くの4技能の向上を図る活動を組み入れた保育・授業を展開しています。そして、日本の文化や生活を知るための活動も行っています。また、日本語が将来に役立つように、日本語能力試験にも挑戦します。



	土曜日		日曜日	
9:30-12:00	幼児教室	国語教室*	幼児教室	日本語教室
13:00-15:30	幼児教室	国語教室*	幼児教室	日本語教室



どのクラスでも、スピーチ・歌・ゲーム・語彙増やし・文字練習・音読をします。また、季節に合わせた製作もします。土曜日の国語教室では、いろいろな読み物を読んだり作文の学習をしたりします。日本語教室は初心者向けです。*土曜日の国語教室のみ、10:00-12:30 と 13:30-16:00 になります。
新校舎での学習が始まる2学期からはクラス数を増やし、もっとたくさんのお子さんのサポートを行います。



バイリンガルへの道 (1)

諦めないという選択

子供達がバイリンガルに育っていく段階で、「もうやりたくない」と泣き叫ぶことがあるかもしれません。そんな時どんな選択をするかが大切です。やめさせる道を選ぶのは簡単です。しかし、そこでバイリンガルの道は遠のいてしまいます。子供が苦しむ原因を冷静に考え、それを解決しながら『諦めない選択』をしていただきたいのです。諦めない選択をした時、きっと子供達は、英語と日本語を駆使できるだけでなく、バイリンガルになるときに培った、人とのコミュニケーション能力を備えて社会に巣立っていくことでしょう。そして、いつか必ず、日本語を学習させてくれてありがとうと言ってくれるはずです。

聞く・話す・読む・書くの4技能がそろったバイリンガルになるためのヒント

言語を使い分ける

言語の使い分けを徹底。正しい表現や言葉のニュアンスを伝えるために、ネイティブがその言語を話します。お子さんは日本語と英語を自然にスイッチできるようになります。ご両親が日本人の場合には、日本語を話しましょう。



英語で説明しない

理解していないかもしれない心配でも、英語で説明するのは極力避けましょう。子供達は回を重ねるごとに理解できるようになります。常に説明していると、子供は自力で考えなくなります。ジェスチャーを入れたり他の日本語で繰り返したりして、忍耐強く取り組みたいものです。また、ナチュラルスピードで話すことも大切です。子供達は、分かるようになるのです。

お問い合わせ／フレンズアカデミーウィークエンドスクールディレクター：小松 奈緒美

Path to a Bilingual

NEVER GIVE UP!

On their ways to be bilingual, the day will sometimes come when some of the children cry and say "I do not want to study Japanese". What kind of decision will you make? It will be easy to give up. But we would encourage you to choose "we will not give up." We are sure that they will not only operate two languages well but also have a high skill in communication which is developed when they are becoming bilingual. Some day they will say "Thank you for giving a great opportunity of studying Japanese."

Tips for Making Your Children Real Bilinguals

Different languages in different occasions

Encourage your child to use Japanese when he/she is talking with a Japanese speaking parent, and English for the English speaking parent. The importance of enforcing this rule is known since they are little. By keeping this rule, the children will naturally learn how to switch between two languages.



No Explanation with another language

Please do not explain what you are saying because you are afraid that your child may not understand that. It leads him/her to wait for your help instead of thinking by himself/herself. Please try to make him/her understand with gestures or other words. And it is important to speak to them in a natural speed. They will learn in the course of repetitive practice.

ホームスクールシステムとは・・・

ご家庭の事情により学校まで通うことができない、さらに学力を伸ばしたいという子ども達から、日本語を第一言語としない方の日本語能力の伸長まで、経験豊富なニューヨーク育英学園の教師がご家庭を訪問し、一人ひとりが抱える問題や課題に合わせて個別に学習方法を考え指導していくシステムです。次の3つのコースからお選びいただけます。

コース	育英サタデースクール・サンデースクール準拠コース	個別カリキュラムコース	幼児訪問コース
対 象	育英サタデー・サンデースクールのカリキュラムに準拠したコースです。ご家庭の事情により学校まで通うことができない、ウェイトニング期間中の勉強、自分のペースで勉強をしたい児童・生徒のためのクラスです。	サタデー・サンデースクールの補習、高度な学習内容のチャレンジ、さらなる学力の向上、帰国対策、日本語を第一言語としない方向けの日本語勉強まで、様々なレベルに対して個別に対応いたします。	日本語による遊び、おりがみ、絵本の読み聞かせや、日本の童謡を通して、子ども達に日本語や日本文化に触れ合える機会を作ります。また、お友達と一緒に参加することもできます。
対 象	小学1年生～高校2年生	小学1年生～大人まで	年中～年長児（日本式学齢）
内 容	国語・算数（数学）	個別相談に応じます	日本語・日本文化を取り入れた保育
回 数	週1回／年間38回	週1回／月4回	週1回／月4回
時 間	1時間30分コース 2時間コース	1時間コース 1時間30分コース 2時間コース	1時間コース 1時間30分コース
授業料	1時間30分コース：500ドル／月4回 2時間コース：640ドル／月4回	1時間コース：340ドル／月4回 1時間30分コース：500ドル／月4回 2時間コース：640ドル／月4回	1時間コース：320ドル／月4回 1時間30分コース：480ドル／月4回
教材費	20ドル／月	20ドル／月	20ドル／月
その他	★スクーリング：学期に1回程度。 ★夏休み等長期休暇時に追加受講が可能。		★お友達とのセミプライベート受講が可能。 (詳細はご相談ください。)

(お問い合わせ先) Eメール：Homeschool.nyikuei@gmail.com

本部（NJエリア受付）

支部（NYエリア受付）

りんごラーニングセンター (Phone:201-947-4707)

フレンズアカデミー (Phone:212-935-8535)

ホームスクールシステム担当：舩田 和美

いろはにほんご教室

Iroha Nihongo

「いろはにほんご教室」は、日本語を学習したい、日本語の能力を身につけたい、日本語を話してみたいなど、それぞれの能力に合う、個に応じた日本語の教育をという思いから2013年度に新規開設した教室です。全クラス、基本的に小学生を対象としており、次の3つのクラスをご用意しております。

国語クラス (Kokugo)

国語として、日本の学校で使用されている教科書をもとに学習します。クラスに入る条件としては、ある程度の読み書きができ、会話も問題ないことです。

日本語クラス (Japanese)

ある程度日本語での会話ができ、日本語を教科（補習校など）として学んだことがない方も基礎から学べるクラスです。

Nihongo (JSL/JFL)

※日本語を母語としない方や、会話も読み書きもまったくできない方を対象とした、第2外国語として日本語を学べるクラスです。英語で日本語を学ぶことから始めます。

まずは体験してみたい、という皆様のために年3回のワークショップと育英サマーでのクラスもご用意致しました。ぜひこの機会をお見逃しなく。*詳細は学園HPにて。

IROHA Japanese School provides 3 levels of classes for those young students who want to study Japanese.

"Kokugo" class is designed for students who can communicate in Japanese and can read and write at their grade level.

"Nihongo" class is designed for students who are somewhat fluent in Japanese but have never used Japanese 'Kokugo' textbooks.

"Nihongo (JSL/JFL)" class is designed for students who want to learn Japanese as a second or foreign language. Students will enjoy learning not just Japanese language but also Japanese culture. Classes are conducted both in English and Japanese.

*Contact us for further details

※ www.JapaneseSchool.org

※ IROHA.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ／いろはにほんご教室担当：牧野 佳代子



JAPANESE CHILDREN'S SOCIETY のご案内



New Jersey キャンパス (イングルウッド・クリフス)

8 West Bayview Avenue, Englewood Cliffs, NJ 07632
Phone: (201)947-4832 Fax: (201)944-3680 E-mail: info.nyikuei@gmail.com

全日制ディスクール 幼児部/小学部

E-mail: dayschool.nyikuei@gmail.com

幼小一貫全日制教育

日本の文部科学省のカリキュラム準拠+ESL&現地校英語

日英バイリンガル教育 (小学部)

毎日1時間の英語+金曜日1日英語=週10コマの英語
1週間の1/3が英語学習
充実の7段階の習熟度別の英語クラス編成
ネイティブレベルは現地校のランゲージアーツの教科書を使用

幼児部

年少組、年中組、年長組、
ゆり組 (ウェディング特設クラス)

小学部

小学1年~小学6年

様々な放課後クラブ活動

(幼・小) サッカー部、水泳部、ダブルダッチ部、ダンス部、
体操部
(幼児部のみ) ボール遊び
(小学部のみ) 野球部、ボードゲーム部

実用英語技能検定 → E-mail: eiken.nyikuei@gmail.com

漢字能力検定 実用算数技能検定 硬筆・毛筆書写検定 日本語検定

→ E-mail: kentei.nyikuei@gmail.com (英検以外の上記4つの検定は、このメールアドレスになりました。)

アフタースクール

E-mail: afterNJ.nyikuei@gmail.com

幼児の教室 (つばめクラス)
小学生の国語・算数教室
ESL (年少~小学6年)
ピアノ教室
空手教室
書道教室
幼児おながく教室 (年少~年長)
いろはにほんご教室

→ E-mail: iroha.nyikuei@gmail.com

日曜プログラム

育英サタデースクール ニュージャージー校

E-mail: satNJ.nyikuei@gmail.com

幼児部 (年中、年長)
小学部 (小学1年~小学6年)
・ 野球部、サッカー部、卓球部、室内球技部、
アート部、ダンス部、書写部
中学部 (中学1年~中学3年)
・ 中学部クラブ
高校国語・数学コース (高校1年生・高校2年生)

育英サマーキャンプ

E-mail: SummerCamp.nyikuei@gmail.com

サマーキャンプ (宿泊)
サマーデイキャンプ
サマー野球教室

りんごラーニングセンター (フォート・リー/NJ)

■プレイグループ親子教室 (おおよそ1歳から)

親子クラス、親子分離クラス

■きりんのへや こども園 (NJ州認可)

日本語による長時間保育 (2歳半から)

■ホームスクールシステム E-mail: homeschool.nyikuei@gmail.com

■語学部門

現地校サポートプログラム

各種テスト対策

・ 英語検定、SAT、PARCC、TOEIC、TOEFL

ビジネス英語

英会話

書道教室

いろはにほんご教室

→ E-mail: iroha.nyikuei@gmail.com

サタデー英語補習教室

2460 Lemoine Avenue, #103, #104, #105, Fort Lee, NJ 07024

Phone: (201)947-4707

E-mail: Ringo.nyikuei@gmail.com

検定関係

育英サンデースクール

幼児部 (年中、年長)
小学部 (小学1年~小学6年)

E-mail: sunNJ.nyikuei@gmail.com

日曜プログラム

日曜ピアノ教室

日曜バイオリン教室

日曜野球教室 (春・秋)

いろはにほんご教室

日曜ダブルダッチ

日曜寺子屋アカデミー

(書道、そろばん、理科実験、陶芸&アート)

→ E-mail: terakoya.nyikuei@gmail.com

日ようびは日本語であそぼう

E-mail: nichinichi.asobo.nyikuei@gmail.com

日ようびは日本語であそぼう

(2歳半~5歳)

育英スキーキャンプ

日帰りスキー教室 (12月~2月)
宿泊スキーキャンプ (12月、2月)

育英ポートワシントン校 (ロングアイランド)

育英サタデースクール ポートワシントン校

幼児部 (年中、年長)

小学部 (小学1年~小学6年)

・ 書道教室、ダブルダッチクラブ、総合体育教室、合唱クラブ

中学部 (中学1年~中学3年)

・ アドバンスクラス国語・数学、書道教室、
ダブルダッチクラブ、合唱クラブ

高等部 (高校1年・高校2年)

・ 書道教室、ダブルダッチクラブ、合唱クラブ

■平日アフタースクール

国語・算数

ホームスクールシステム

Kuei Saturday School of Port Washington

Location: Carrie Palmer Weber Middle School

Port Washington Office

8 Maple Street #6, Port Washington, NY 11050

Phone: (516)767-3139

土曜日のみ: (516)455-3871/(201)362-5678

Fax: (516)767-2753

E-mail (オフィス): satPW.nyikuei@gmail.com

E-mail (アフター): afterPW.nyikuei@gmail.com

フレンズアカデミー (マンハッタン)

■国語教室 (小学生から)

■親子の日本語教室 (1歳~3歳未満)

■幼児の日本語教室 (2歳10カ月から)

■日本語の基礎教室 (3歳から)

■ピアノホームレッスン (3歳から)

■書道教室 (年中から)

■たんぽぽ日本語ホームレッスン (4歳から)

■季節プログラム

春→春のお勉強スクール

夏→幼児サマースクール、お勉強サマースクール

冬→冬のお勉強スクール

■中高生講座 (中学生・高校生対象)

SAT・ACT指導/SSAT・ISEE指導

大学受験指導/日本語能力試験指導 (日本語を母国語としない方)

■いろはにほんご教室 → E-mail: iroha.nyikuei@gmail.com

■日ようびは日本語であそぼう (2歳半~5歳)

(NJキャンパスへスクールバスが出ます。)

■ウィークエンドスクール

E-mail: weekendFriends.nyikuei@gmail.com (土曜日&日曜日)

育英サタデースクール マンハッタン校 (マンハッタン)

幼児部 (年中、年長)

小学部 (小学1年~小学6年)

・ 合唱部、リズムダンス部、書写部

中学部 (中学1年~中学3年)

・ 書写部、アドバンスクラス

Location1: Friends Seminary

Location2: Grace Church School

Phone: (201)947-4832

※土曜日のみ: (201)637-3927/(201)449-4501

Fax: (201)944-3680

E-mail: satM.nyikuei@gmail.com

2015夏
新校舎に
移転予定!
(東証P. 2館開)

2015年度 オープンハウスのご案内

1学期

5月10日(日) 小学部運動会 (9:30~2:45 全日制・サタデースクール合同)
*予備日 5月17日
場所: Winton White Stadium: Durie Ave. Englewood, NJ 07631
5月12日(火) 保育参観日 (年長 8:40~11:20)
5月13日(水) 保育参観日 (年中 8:40~11:20)
5月14日(木) 保育参観日 (年少 8:40~11:20)

6月7日(日) 日曜参観日 (幼児部 9:00~10:25・小学部 10:40~12:20)

2学期

9月17日(木) オープンハウス・校内アートコンクール鑑賞会 (小学部 9:10~3:10)
9月18日(金) オープンハウス (英語の日) (小学部 9:10~2:25)
9月20日(日) 幼児部運動会 (10:00~1:30)
*予備日 9月27日

11月21日(土) 学園祭 (幼児部 9:00~10:30・小学部 10:30~3:30)
場所: North Cliff School

12月2日(水) 学園見学会 (幼児部・小学部ともに 9:10~12:20)
12月4日(金) 学園見学会 (幼児部 10:30~11:15・小学部 9:10~12:20)

3学期

1月12日(火) 保育参観日 (年長 8:40~11:20)
1月13日(水) 保育参観日 (年中 8:40~11:20)
1月14日(木) スケートオープンハウスイベント (小学部 9:10~3:10)
1月21日(木) 保育参観日 (年少 8:40~11:20)

※ がある日は無料の送迎バスをご用意しております。
※ 日曜や場所は変更される場合がございます。

—2015年度サマーキャンプ—

☆概要について

幼児部・小学部 デイキャンプ

前期: 6月29日(月)~7月17日(金)

後期: 7月20日(月)~7月31日(金)

野球キャンプ

期間: 6月29日(月)~7月31日(金)

※土日、祝日、宿泊行事日を除く。

宿泊キャンプ

期間: 6月28日(土)~7月12日(土)

☆プログラムについて

今年のテーマは幼児部・小学部共に前期は「日本文化」、
後期は「スポーツ」となっています。

幼児部

日本の文化に触れながら、「遊び心」いっぱいに、ワクワクするようなアクティビティ (格技、ダンス、工作、泥んこ遊びなど) をたくさんご用意しています。クッキングでは前期は「豆腐作り」、後期は「うどん打ち」を行う予定です。日本にいても、なかなか体験することのできない日本の文化活動を数多く取り入れています。

小学部

「カラフルな夏」を合言葉に、子ども達が楽しく過ごせるプログラム (理科、音楽、水泳、工作、1泊2日の宿泊キャンプなど) を多数ご用意しています。例年通り、学年の枠を超えた、異年齢同士の縦割りでの活動が中心となります。サマーデイキャンプを通じて、楽しみながら他者へのいたわりや思いやりの心を大きく育んでいきます。

野球キャンプ

今年のサマー野球教室では、毎日の試合の記録をつけて、最後に表彰を行います。ホームラン王や首位打者、奪三振王などを目指してください。自分の記録を知ることにより、野球への理解を深めていきます。

宿泊キャンプ

レイクグリーリーでの宿泊キャンプは、世界各国から多くの子ども達が集まる、アメリカ人が経営するキャンプです。ペンシルベニア州のボコノ・マウンテンの大自然の中で、親元を離れ、15日間に渡って共同生活を行い、様々なアクティビティに挑戦します。



二〇一五年度 オープンハウスのご案内

ニューヨーク育英学園では、たくさんの皆様に本学園について知って頂くために、年間を通じてオープンハウスを実施しています。また、行事によっては、無料のスクールバスをご用意しております。どうぞ奮ってご参加ください。
※最新情報は、学園HP上にてご確認ください。

お問い合わせ/事務主任: 木川 雄太郎

東北児童招待 第3回アメリカサマー留学

ニューヨーク育英学園では、2013年夏より

東日本大震災で被災し、家族の一員をなくした子ども2名を本学園サマーキャンプに招待しています。

本企画では、招待児童2名が育英サマーデイキャンプ

の様々なプログラム (水泳、工作、英語、スポーツ大会、遠足)

を体験し、週末は観光に出かけ、アメリカで新しい発見、経験を

してもらおうというものです。

今夏で第3回目となります。第1回目より全体協力いただいているあしなが育英会のもと、ニューヨーク日系人会よりの協賛

もいただき、また、子ども達のホストファミリーとして本学園在

籍者家庭でボランティアの受け入れを予定して

おります。様々な方よりご協力を頂き、とても

嬉しく思うとともに、ニューヨーク育英学園

では、招待児童が安心して留学できる環境を

作り、楽しい10日間を過ごせる様、しっかり

サポートしていきます。

本学園では、引き続き震災被災者のアメリカ

サマー留学支援をしていただける企業、団体、

個人の皆様の温かいご協力をお待ちしております。

ご興味のある方は、是非、ご連絡ください。

お問い合わせ先: 担当 キム 佐帆

学園事務局 Phone: (201)947-4832

E-mail: invitation.nyikuei@gmail.com

2015年度 NY育英学園各種検定

2015年度、ニューヨーク育英学園では例年通り、各種検定を行ないます。実施している検定は次の5つです。また、昨年度から3校同時実施 (ニュージャージー校、マンハッタン校、ポートワシントン校) を始めた漢字検定は、今年度も引き続き実施すると共に、ご要望のあった漢字検定模擬試験も、3校で受験ができるようになりました。みなさまの参加をお待ちしております。

漢検

硬筆書写検定

数学検定

英検

公益財団法人

日本英語検定協会

語検

日本語検定

※詳細については、学園ホームページをご確認ください。

※英検用Eメール: EIKEN.nyikuei@gmail.com

※英検以外の検定用Eメール: KENTEI.nyikuei@gmail.com

お問い合わせ/検定担当: 舩田 和美

幼児部

職員研修

小学部



園児支援研修会



在米コミュニケーションセラピストのカニングハムス子氏による園児支援研修会。数ヶ月に渡って、園児の行動観察及び職員によるグループセッションを通して、事前勉強会に取り組みました。それを踏まえて研修会に臨み、教育者としての支援方法を学んでいます。

教科指導力を高める

- ◇児童が該当学年の基礎基本を確実に身に付け、更なる学力向上ができるようにする。
- ◇研究授業・研究協議、地域の現地校見学、講師をお招きしての講演会を通して、小学部職員の指導力向上を図る。

担任



研究授業 (担任・英語科)

教員が互いに指導について情報交換をすることで、指導についてレベルアップを図り、質にこだわった授業を展開できるようにしています。

授業の指導案作成
↓ →事前授業と協議
研究授業
↓
研究協議
↓
授業へのフィードバック

英語科



研究協議

研究授業の事前公開授業から、放課後、授業の進め方や指導方法、支援の方法などについて、より良い授業のために、毎回話し合いをしています。

現地校研修

近隣の現地校を訪問して、職員との話し合いや、授業・施設の見学を通して、指導方法の工夫や、現地校に移行していく児童への支援の参考にしています。

研修会「遊びと学び」

3月には、筑波大学名誉教授・茨城大学特任教授 前川久男先生をお招きし、研修会を開催しました。特別支援教育を通して、教育の原点について具体的事例をもとにした研修をしました。



現場で研修

討議で研究

保育・授業の向上



研究保育会



各学年の保育士が、他学年のクラスに入り、保育を研究しました。観点を「自由遊び」「朝の会」「主活動」の三つに分け、主に、指導方法、園児との関わり方、クラス運営について学ぶ機会となっています。研究後は討議会を行ない、それぞれの意見を交換し、更なる発展を図っています。

NY育英学園のバイリンガル教育

特別インタビュー企画その2



ハロウィンパーティ (1年生)



日本

ニューフレンズデー(3年生)



現地校
ソフトランディング編



現地校

● サタデー・スクール

NY 育英学園では、全日制幼児部小学部の他、サタデー・スクール、サンデー・スクール、アフタースクール、サマー・キャンプなど多様な受け皿を用意し、様々なニーズを抱えた家庭の子どもたちのために、学年・レベル別クラスによる日英バイリンガル教育環境を提供しています。特別インタビュー第二弾では、2012年4月にNY 育英学園全日制小学部に新1年生として入学。3年時の2014年秋に現地校に転校すると同時にNY 育英学園サタデー・スクールNJ校に編入した、小林美遥さんとそのお母様にインタビューにお答えいただきました。

「NY 育英学園全日制小学部に入学した経緯を教えてください。」

小林(母): アメリカに転勤になることは約半年前に分かりました。美遥は当時日本で年長児でしたが、NY 育英学園のことを調べて、日本人学校に通わせることを決めました。あまりプレッシャーをかけたくなかったので、特に英語の勉強をあらかじめさせることもなく、こちらにやってきました。」

「入学前に学園が英語教育にも力を入れていることは、ご存知でしたか？」

小林(母): 学園の説明を受けて、丸一日英語だけで学習する日があることを知り、少し驚きました。実は、こちらに実際に引っ越してきてから、家のすぐ近くに現地校があることがわかり、現地校に行かせてみようかと少し迷ったのですが、本人がNY 育英学園に行きたいということで、その気持ちを大切に学園に通わせることにしました。

「毎日英語の授業があるとともに、金曜日は丸一日英語で勉強する日と知って、美遥さんは、どんな気持ちになりましたか？」

美遥: 金曜英語の日の最初の日は、ちょっとドキドキしました。でも、周りは日本人の友達がたくさんいるし、私がいた初心者のクラスの先生は日本人の先生だったので、安心して徐々に英語の勉強にも慣れていきました。

「おとなしめだけれど、いつもとても一生懸命な美遥さん。最初の頃は、英語の授業で分からなかった時や、上手く答えられなかった時、つい涙がこぼれてしまうこともありました。」

小林(母): 育英の1年生は、幼稚園の頃から通っていて、英語の授業にも慣れている子どもたちが多かったため、周りの子たちに追いつきたいという焦りもあったようです。親子で相談して、アフタースクールのESLクラスを取ることにしました。結構負けず嫌いのところもあるんです。

「毎日の英語の学習の中で、メキメキ英語の基礎力を付け、2年生の時には英検5級に合格。3年生の夏には4級も合格しました。そして、その夏に現地校への転校に踏み切ったわけですが、きっかけは何でしたか？」

小林(母): 主人の仕事の関係でビザが5年延びることになり、子どもたちの教育をどうするか家族で相談していた時、それまでは育英にいたいと言っていた娘が、現地校に行ってみたいと言いだしたんです。

「英語にもちやうど自信がついてきた時だったのかな？」

美遥: はい。育英の英語のクラスが上がって、毎日聞いているネイティブの先生の英語がどんどんわかるようになってきて、もっと英語を勉強したいと思うようになりました。

「3年生の2学期に、現地校の新3年生として編入しましたが、最初はどうでしたか？」

小林(母): 最初の1週間は慣れずに辛かったようですが、1週間たったら、ケロッとして、朝「行ってきまーす」と元気に登校するようになりました。

「今は、現地校でどんな勉強をしていますか？」

美遥: 今はまだESLのクラスも取っていますが、ホームルームのクラスの子たちと一緒に、Language Arts や Math, Science, Social Studies など

学んでいます。やっぱり Language Arts の英語は難しいですが、育英の金曜英語の日で Math や Science, Social Studies の勉強をしたことやいろいろなゲームをする中で覚えた単語が役立っています。

小林(母): 最初の3、4カ月は、話は大体わかっていても自分の言いたいことを上手く伝えられないもどかしさに苦しんでいたようです。宿題もたくさんあって、終わらせるのが一苦労でしたが、年が明けてからは私に聞きに来ることも少なくなり、自分でさっさと終わらせられるようになりました。

「ご家庭では、どういったことに心がけていらっしゃいますか？」

小林(母): 毎日学校では英語漬けの生活を送っているため、家に帰ってからは日本語での語らいの時間を大切にしています。日本語を逆に忘れてほしくないため、転校してからはNY 育英学園サタデー・スクールNJ校に通わせています。

「今後、どのようにして日本語と英語の両立を図らせたいとお考えですか？」

小林(母): 数年後、日本に帰国することが決まったら、また育英学園に戻って、日本に帰る前に日本語での授業に慣れさせたいと考えていますが、まずは、本人がそうしたいという意思を大切にしたいと思っています。

「NY 育英学園での学校生活で、よかったと思うことは何ですか？」

美遥: 現地校では、育英の学園祭のように、毎日劇の練習をして、大きな背景画を描いて、衣装を着てたくさんの人の前で演じるようなことや、宿泊旅行などがないので、それが懐かしいです。

小林(母): 本人がやりたくて育英の放課後のダブルダッチクラブには今も通っていますが、チームで目標に向けて頑張るといって、チームワークと和の心も学んでいるようなので、学園が提供してくれる様々な機会を利用して、日本人としての心も学び続けて欲しいなと思っています。

「学校の選択に迷っていらっしゃる保護者へのアドバイスはありますか？」

小林(母): どの学校でどういう教育を受けさせたいかは、周りの環境や家庭の様々な都合で、皆さんそれぞれの考えがあるのだと思いますが、私たちは、子どもがそうしたいという意思を尊重したこと、あとはタイミングだったのだと思います。もし子供がずっと育英にいたいと言っていれば、きっとまだ育英に通っていたことでしょう。でも英語力に自信がついてきたある日、ふと子供が自分から現地校に言ってみたいと言いだした。せっかくもう少しアメリカに暮らすのだから、現地校も体験させてあげたい、そんな親の気持ちもあって、親子の同意のもとに転校に踏み切りましたが、子どもが自分で決意して選んだ道は、本人も本気で主体的に取り組むので、子供がそういう気持ちになるまで待つことはよかったのだと思います。

「NY 育英学園全日制のお友達へのメッセージをお願いします。」

美遥: 時々育英での生活が懐かしくなりますが、自分で決めたことなので、今は現地校で頑張っています。みんなも日本語と英語の両方を頑張って、いろいろな楽しい行事のある学園生活を楽しんでください。

お問い合わせ／全日制英語科主任: 飯田 名生子

育英サタデースクール主催
バイリンガル子育て体験 講演会・座談会シリーズ
----- お母さん編 その2 -----

バイリンガル子育ての道は一つの正解というものがある訳ではなく、ご家庭の状況やお住まいの地域の環境、そして何よりも子ども一人ひとりの個性によって様々な道があるかと思われます。

2014年度から始まった育英サタデースクール主催のバイリンガル子育て講演会・座談会も第2回（6月14日）、第3回（10月25日）と好評を頂いております。今回は前回の続き、第2回目のお母さん編の報告（その2）をさせていただきます。

＜第2回目のテーマ＞

- ①「わが家が現地校とサタデースクールの組み合わせを選んだ理由」
- ②「現地校とサタデースクールとの両立のためのわが家の工夫」

話題提供者

- 母親1：サタデー小学部に2人のお子様があり、日本語と英語のバイリンガル環境で育ったお母様。
ご主人は英語が母語。＊2015年冬号にて報告
- 母親2：サタデー中学部にお子様があり、日本語を母語とするお母様。ご主人は英語が母語。
- 母親3：英語、日本語、韓国語の3ヶ国を話す家庭で育つサタデー小学部にお子様がある日本語を母語とするお母様。ご主人は韓国語、英語話者。



日英バイリンガル環境にあるご家庭で育つお子様のお母様3名に集まって頂き、お子様の教育のためになぜ、サタデースクールとの組み合わせを選ばれたのか、そして現地校とサタデースクールとの両立のためにどんな工夫をされているのかを伺いました。

母親2

＜選択の理由＞

・アメリカに永住の予定だが、せっかく母親が日本人であり、日本語を身につけるチャンスがあるので、現地校と育英のサタデーのコンビネーションを選んだ。家庭ではアメリカ人の父親は英語で、日本人の私（母親）は日本語で話してきた。周りのお子さん達は2、3歳からナーサリーに通わせていたが、娘はナーサリーに行かせるのを遅らせ、4歳から現地校のキンダーに行くまで、週に2日、1年弱通っただけだった。遊ぶのは日本人の友

達、テレビも日本語のテレビ、音楽も童謡も日本語だった。英語は父親が英語の絵本を読んであげていた。現地校に行くまでは日本語の基礎をというつもりでいた。

＜両立の工夫＞

- ・週末に育英サタデーの宿題を終わらせる。終日は現地校の宿題というようにした。作文は週末に下書き、平日に仕上げるようにした。
- ・夏などに日本の学校に体験入学などもさせたが、地道にコツコツ積み上げていく、習慣として続けることが大事。
- ・できれば育英の高等部まで行かせたいと思っている。

母親3

＜選択の理由＞

- ・子どもはアメリカ生まれ、アメリカ育ち。家での共通語は英語。母親は英語、日本語のバイリンガル。父親は日本語を話す。1歳から育英のプレイグループ、それから育英の未就園クラス、小学1～3年生までは育英のアフター、4年生から育英サタデーに編入した。週末（日曜日）には韓国語学校にも通っている。
- ・アメリカにいるつもりですので、全日制の日本人学校に入れるという選択肢は初めからなかったが、小さい内は家で母親が日本語で育児をしていたので、小さい内は全日制の日本語の幼稚園や小学校に入れて母国語を強化して丁寧な環境の中で良い習慣を身につけさせてあげてから、現地校に移るという選択肢もあったかなあと、今になって思えば、そう思うこともある。

＜両立の工夫＞

- ・小さい頃から小学生3、4年生頃までは、毎日、寝る前に30分から1時間位、日本語の本を何度も読み聞かせをした。お気に入りの本を何度も読んで聞かせた。テレビはほとんど見なかった。家の中にたくさん本がある。中1の今は日本語の本は漫画ばかりだが、英語の本は毎日よく読んでいる。
- ・日本のテレビは大河ドラマを親子で泣いたり笑ったりしながら見ている。お陰で日本の歴史を勉強する時もずーと入っていった。
- ・夏に幼稚園の時から帰り、毎年体験入学している。友達もでき、日本が好きになっている。
- ・現地校との両立は日本語がきちんと入っているので、自然にできたという感じだった。

＜次回は英語を母語とする父親の関わり方編です＞



お問い合わせ：育英サタデースクール NJ校ディレクター 上妻雅浩

ほたるの光の数と天気ひ・み・つ

サタデーNJ校 池内 あふみ さん(2014年度小2)
～夏休み自由研究作品より～

お手紙と池内あふみさんの研究レポートを拝受いたしました。研究レポートを拝見させていただきましたが、データや分かったこと、考えたことがきちんとまとめてあり、また、このレポートを作成した池内さんが小学2年生ということに、驚いているところです。発表会での発表も、ぜひお聞きしたかったものだと残念に思っております。香月・黒川は、ホテルの保護育成活動が盛んな地域で、この地域にある6つの小学校の子ども達も、ホテルに関する勉強や活動を熱心に行っています。その拠点となるよう、この香月・黒川ほたる館が平成25年10月に作られました。北九州市立の名の通り、北九州市の管理運営する施設ではありますが、その中では、私が事務局長を務める香月・黒川ほたるを守る会や地域の人たちを中心に、ホテルに関する活動を広げていっているところです。この地域でホテルにかかわる子ども達も興味深く見るだろうと、早速、施設内に池内さんの研究レポートを掲示させていただきました。これをきっかけにして、何らかの交流が持てるとこちらもうれしく思います。ご帰国の際には、ぜひ、この香月・黒川ほたる館にもお寄りください。特に5月末～6月上旬にお越しいただければ、黒川のホテルの乱舞をご覧いただけるかと思います。期日が限られますが、ほたる祭りも、いつか楽しんで頂きたいものです。なお、池内さんのレポートの掲示の様子を写真に収めお送りいたします。池内さんにもなにとぞよろしくお伝えください。 最後になりましたが、皆様のご健康とご活躍をお祈りしております。

2015年2月12日 香月・黒川ほたる館館長 田代喜八郎

北九州市立香月・黒川ほたる館
〒807-1103 北九州市八幡西区香月西4丁目6-1

TEL/FAX 093-618-2727



ほたる館のロビーに展示された
池内さんの作品

お問い合わせ／サタデーNJ校ディレクター：上妻 雅浩



プロジェクト「春にチューリップを咲かせよう！」



＜新しく設置された大型遊具＞



NJ州の新規定により新しいものに
取り替えられることになった大型遊具。
これまでお疲れ様でした。



＜取り外した廃材＞



＜新しくできた花壇＞



＜幼小で球根植え＞



＜冬を乗り越えました＞

お問い合わせ／NY育英学園事務局長：上妻 雅浩

第2回 米国国務省外交官と交流

2015年4月、米国国務省 Foreign Service Institute が企画する Japanese Language Immersion Trip (サバイバルスキル研修) に、今年も本学園が協力しました。この研修は、米国外交官が今後の日本勤務に向け、日本の日常生活や文化、マナーを学ぶ為のものです。第2回となります今年は、米国外交官10名がニューヨーク育英学園全日制部門幼児部・小学部の始業式に参加し、子ども達に日本語でスピーチをしました。慣れない日本語で精一杯話をする外交官研修生の姿に、英語を学ぶ学園園児・児童たちはどことなく共感し、子ども達にとっても良い交流となりました。また、本学園在籍者より7家庭がボランティアとして、外交官研修生を各ご家庭の夕食に招待していただきました。日本人家庭内でのホスピタリティや、様々な文化の違いを感じ、たくさんの事を学び楽しい食事になったと喜んでいました。日本語終了試験が6月に控えており、合格後それぞれが勤務地へ赴任されるそうです。研修の経験を活かし、日本のどこかで活躍されていることを願っております。

NY育英学園では、引き続き様々な国際交流ができる場を作っていきたいと思っております。その際には、皆様のご協力を賜りたく存じます。また、今回ご協力いただきましたご家族の皆様、この場をおかりし、お礼申し上げます。



お問い合わせ／交流担当：キム 佐帆

NY育英学園合同展2015

今年度も下記の合同展が内部生を対象に開催されます。どうぞお楽しみに。

★NY育英学園クラブ書写コンクール

参加対象者：NY育英学園各部門書写クラブ参加者
展示会期間：2015年6月（予定）
展示場所：フレンズアカデミー新校舎

★NY育英学園夏休み自由研究合同展示会

参加対象者：NY育英学園全部門の小学生以上
展示会期間：2015年10月1日（木）～10月12日（月）
展示場所：NJキャンパスの育英ギャラリー
（オープンハウスですのでどなたもご覧頂けます。）

神奈川県で16年間教師をし、渡米した。その時には、アメリカで日本の学校の教師ができるなどとは考えもしなかった。この学園で働いていた先生と出会い、それがNY育英学園で働きかけになった。1年のブランクの後、初めて自分の教室へ入った時、「ああ、また先生ができる！」と思った感動は今でも覚えている。

日本で私の教師生活の始まりは、小学校3年担任だった。1・2年一緒だった子がクラス替えとなり4クラスから集まってきたクラス。「先生、前の先生はこうしてたよ」と言ってくる子に、何も分からない私は「あ、そう」と、結局は子ども達に振り回され、收拾のつかないクラスにしてしまった。これではいけないと、それからいろんな研究会に行くようになった。その頃は教師が足りない時代で、一つの学校に新任で十人ぐらい入ってくる状態が3年ほど続いた。若い私たちはみんなで集まり、勉強会を開くようになった。夏になると全国で行われる研究会にみんなで手分けして参加し、夏が終わるとみんなで報告会を開き情報交換をしていた。

明星学園は、その頃日本語教育の先端を行っていた学校で、ラジオの「子どもなんでも相談室」を担当していた、無着先生がいた。私はそこで1年を担任していた須田清先生の授業に感動し、後日また、先生の教室を訪ねた。先生は惜しむことなく作られた教材を見せて、教えてくれた。それが今の私の国語の教え方の基本となった。算数は水道方式で作られた遠山啓先生の数学教育協議会から学んだ。掛け算の導入「いちあたりりょう」の研究授業を見に行ったら。参加者から「あたり量だけで1時間終わっていいの？」という質問に、遠山先生は「それぐらい重要な概念なのだ」と答えられた。算数をただの数字ではなく、量の概念をつけながら教えるのだというのはここから学んだ。日本作文の会にも何度も行った。「自分の実践を持たずに研究会に出るな」という授業を創る会の白井先生の言葉に、1時間の授業記録を起こすのに10時間から12時間掛けてテープ起こしをやり続けた。学校潰けになって過ごした日々だった。若い頃に、その頃の民間教育の最高の実践に触れたことが、今の私の宝となっている。

(記：アフタースクールN J校小学部生担任/ヤング ミツ子)



職員・ベテナリー

高校生ボランティア紹介

サタデーマンハッタン校 杉野 統己君
(2013年3月サタデースクールM校中学部卒業)

The Bronx High School of Science に在学中で、好きな科目は物理、好きなことはスケートボードという杉野君。サタデースクールで学んで一番よかったことは「日本語を忘れることなくきちんと使えていること」だと嬉しそうに話してくれます。毎週、優しい笑顔を絶やすことなく、体育の活動補助や図書の貸し出し手伝いなどどんなことにもてきばきと動く、働き者のお兄さん先生です。



紹介者/サタデーM校ディレクター：牧野 佳代子

NY学園物語 —お誕生日会編—

① 幼児部のお誕生日会。
お誕生日の子供たちにインタビューです。



① There's a birthday party at the preschool today. The birthday boys and girls are getting interviewed.
② What's your favorite food?
③ Hiro! Hiro!



④ Apple cake!
⑤ Sounds delicious. Does your mother usually bake it for you?
⑥ Yeah.



⑦ What's your favorite food?
⑧ Apple cake.



⑨ Oh, then let's ask Hiro's mom to bake one for you, too.
⑩ You're putting too much pressure on Hiro's mom, sensei...
⑪ What...!?

©2015 Tomoe Farley

～先輩から一言～



かわまた こうたろう
精神科医 川俣 光太郎さん

東京医科歯科大学卒。同大学附属病院で研修の後、現在都内の総合病院精神科に勤務中。



こんにちは、川俣光太郎です。6年間育英学園に育ち、校庭のトーテムポールの鳥をつくりました。

私は日本で精神科医をしています。ひとはここに異常が生じると、言うことやすることが変化したり、眠れなくなったり、延々と悲しくなったり、といった「症状」が出ます。その症状で本人か周囲が困っているときに、精神科医の出番となります。元気になる、というよりも、元気であることを妨げているものを取り除く仕事です。私はこの仕事が好きで、わくわくしながら毎日に向かっていきます。何故って、妨げているものを取り除くと、その人の元気の素がうずうずと動き出して生き生きとしてくるのです。元気の素のひとつが、「自分の好きな何か」を体の芯から知っているということ。それが仕事であれ人であれ、その人が生き生きとなれるかにかかなり影響していると感じています。生き生きとしている大人はカッコよく、魅力的です。だから、「自分の好きな何か」を見つける方法を知って欲しいと思います。それは、「自分のことと体に訊くこと」。そのために「実際にやってみる。それに向かって動き出すこと」。自分が何が好きなのか、の納得には想像だけでは至りません。頭の中で考えるのと、体験として「自分自身にそのことを浴びせる」とは、本の表紙を見るのと実際に読むこと以上の違いです。じゃあ何からやるのだろう? というのが疑問になります。これは、「ほんのかすかでも興味がわいたのなら、やってみてから決める。」その選別も行動し、体験することで自分に訊くのです。あこがれも、ふとしたものも、全てが対象になりえます。そのとき、お父さんが真剣に「これはしてはいけない」というものはしないで下さい。これかな? とか、これだ! という何かを見つけたら、さらにやることで自分自身のこのころの声がもっと聞こえてきます。このように泥臭く積み上げた体験と声とが、それと生きてゆこう、と思う程の、「自分の好きな何か」に届かせます。だから、寄り道や回り道、変化もあろうけれども、ばんばん自分の意思で体験を積み重ねていって下さい。あと、やらなければならないことをすることも、この探索の中では大事だということも忘れないで置いて下さい。

前号 (2015年1月9日付) 以降にご寄付頂いた企業・個人の皆様

ORITZ GIFT SERVICE	TARGET	(2015年3月31日現在)
MR. GOU HASEGAWA	MR. HUMIAKI HONJI	MS. MAKI SHIMIZU
MR. NAOYA MATSUSHIGE	MR. SHINICHI DOI	
MS. TAKAKO AND MR. PHILIPPE KHUONG-HUU		
MS. VIVIAN HAYASHI-TSAY	MS. YOSHIE ODA	



お問い合わせ/ファンドレイジング担当：半場 綾子・笠間 将平